

こんにちは！

印西市議会議員 **ますだようこ** です

〒270-1347 印西市内野 2-1-6-202 Tel&Fax 46-6809  
URL : http://homepage3.nifty.com/kenclever/index.htm



議会報告 No.1 / 平成 15 年 12 月定例議会 / H16.1.14

## 12 月定例議会の主な議案

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく申し上げます。

昨年、12月3日から19日まで定例議会が開かれました。提出された議案は、以下のとおりです。

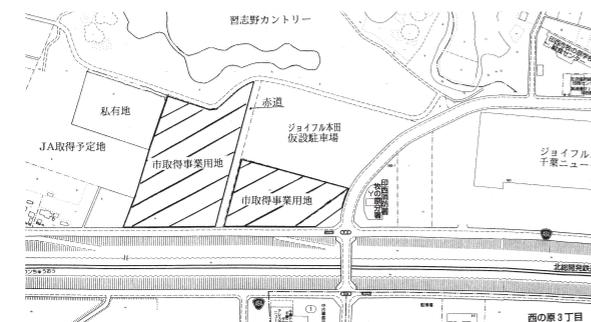
- ①平成 14 年度決算の認定
- ②条例の制定・改正が 10 件
- ③ 15 年度補正予算が 4 件
- ④財産（土地）の取得が 1 件
- ⑤監査委員選任の同意が 1 件
- ⑥発議案（意見書の提出）が 2 件

3日から10日午前（4日は合併協議会のため休会）までは会派代表、個人の一般質問が行われ、続けて10日午後に6件、19日に残りの13件の議案が審議されました。④財産（土地）の取得の議案のみ審議途中で取り下げられたほかは、すべて原案可決となりました。

## 用途のはっきりしない土地をなぜ買うの？

議案取下げとなった問題の土地は、ジョイフル本田の並びで国道464号線沿いの約3万8000㎡。購入金額は3億9367万円、相手方は千葉県企業庁です。

市の仕事は、市民へ行政サービスを提供することで、何か買い物をする場合には、「市民にとってどんなプラスがあるのか」という点の検討が重要だと思います。しかし、この議案は、ただ「財産の取得」となっているだけで、そうした説明がいっさいありま



せん。各議員からの質疑が進んでいく中で、この土地で何をするのか、具体的な計画は「これから」、事業費の積算も「これから」ということが明らかになっていきました。市の曖昧な説明では、「産地直売センター」「農業体験施設」「農業加工工房」「イベント広場」などがあがっていましたが、具体的な計画もなくマーケティング等も行っていません。

市は以前から、道の駅ばりの産地直売センターの整備を計画していましたが、その候補地がなかなか定まらず、一昨年末に、JAの移転も含めて、ようやく今回の土地に整備する計画がまとまったところでした。その後、直売センターにバイオマスプラントをプラスした「資源循環型拠点施設」というものがいきなり登場し（補助金ねらい？）、さらに「やっぱりバイオマスは無理」ということになって、事業計画が二転三転。「計画は後で立てよう、とりあえず買おう」ということになったようです。

一部には「値段も安いし買っていいのではないか」という意見も出ましたが、いくら安くても使い途のはっきりしない物を買うのはどうでしょうか。「安かったから買ったけど、あんまり活用しなかった」という経験は誰にでもあることだと思いますが、個人的には許されても公共機関では許されません。

形勢不利とみた市が、「否決される前に引っ込めよう」ということになったしだいです。今後事業計画を固め、次の議会に提出予定とのこと。

## 印西市の貯金はいかほど？

②条例の制定・改正のほとんどは、一斉に「基金」の見直しをかけたことに伴うものです。改正の趣旨は、基金の「使い勝手をよくする」というもの。新旧の対照は一覧表の通りです（積立金自体は旧を引き継ぐ）。その他、簡易マザーズホーム（たんぼぼ園）に支援費制度を適応し、「児童デイサービス」とする条例の改

表 基金の新旧対照表&積立額（※は今回改正のもの）

旧基金名	新基金名	積立額(千円)	改正の趣旨
財政調整基金	同左	4,190,392	
減債基金	同左	196,925	
社会福祉基金※	保健福祉基金	370,385	二つの基金を統合し、福祉分野だけでなく保健分野へも活用の幅を広げる
地域福祉基金※			
教育施設整備基金※	同左	6,689	学校施設だけでなく、図書館、給食センター、文化ホールなどの大規模改修にも活用できるようにする
ふるさとづくり運営基金	同左	570,435	
都市計画事業基金	同左	395,268	
土地開発基金※	同左	509,463	処分規定を設けるもの
庁舎等建設基金※	庁舎等整備基金	418,960	増改築だけでなく大規模改修に対応できるようにする
成田線複線化整備基金※	鉄道施設整備基金	10,355	北総線を視野に入れる。「駅周辺」の整備・改修に対応できるようにする
文化ホール事業基金※	同左	30,000	基金額を3,000万から2,000万に減額する
国民健康保険事業財政調整基金※	同左	303,365	基金に積み立てる額をフレキシブルにする
介護保険事業財政調整基金	同左	132,917	
計		7,135,154	

正と国民健康保険税条例の一部改正が2件ありました。

ところで、印西市の貯金（積立金現在高）はいったいどのくらいあるのか？ということにちょっと触れたいと思います。表のとおり平成14年度末で総額71億3,515万円です。これは他の自治体と比較して多いのでしょうか、少ないのでしょうか。

県市町村課発行の『平成13年度市町村財政の状況』を見ると（平成14年度決算の統計が出るのは15年度末）、「積立金現在高比率」で県内の他の市町村と比較することができます。「積立金現在高比率」は、財政規模に対して積立金をどのくらいの比率で持ってい

るかという数字です。人口6万人以上10万人未満のグループ（銚子市、茂原市、成田市、君津市、四街道市、八街市、印西市の7市）の平均値が、30.8%に対して、印西市は45%となっています。グループの平均値は出せませんが、14年末の印西市の比率は47.1%でした。このグループの中では、一番人口が少ないことを考えると、そこそこに貯め込んでいるという印象です。

印西市が特徴的と思われるのは、額の多少よりも「財政調整基金」の比率が高いことです。「財政調整基金」

私、増田葉子は、昨春の統一地方選挙で初当選後、会派・まちづくり研究会に所属し活動をしてまいりましたが、このたび単独で活動していきくとになりました。6月定例議会については、会派での議会報告を行います。したが、今後は単独で報告を行ってまいります。

2市2村（印西市・白井市・印旛村・本埜村）の合併は「決まったこと」ではありません

今、なぜ合併なのか？

## 合併について一緒に考えませんか？

具体的なメリット・デメリットはなに？

合併について、疑問のある方、意見を言いたい方、ぜひ参加してください。

合併は住民投票で決めるのではないの？

一緒に「印西市民にとっての合併」を考えましょう！

1月18日（日）10：00～12：00	中央駅前センター第二会議室
1月24日（土）14：00～16：00	そうふけふれあい文化館
1月31日（土）10：00～12：00	小林コミュニティプラザ
2月7日（土）14：00～16：00	印西文化ホール会議室

※保育のサービスがあります。お子さん連れでも気軽に参加してください。

印西市議会議員 山田喜代子（Tel 46-2183）伊藤和江（Tel 42-4841）増田葉子（Tel 46-6809）

は、財政を調整するためであれば「何に使ってもよいお金」です。家計で言えば、家族行事やふいの出費のために積み立てている生活費の一部のようなお金ということになるでしょうか。印西市はこの「何に使ってもよいお金」を常にたくさん持っているということです。

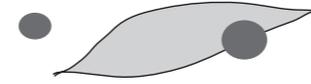
総務省編の『地方財政白書』によると、平成13年末の全市町村の平均は、基金の総額に対して、財政調整基金30.3%、他の目的基金69.7%でした。平成14

年末の印西市は、財政調整基金68.1%、他の目的基金31.9%です。

「何に使ってもいいお金」がこれだけあるのが良いのか悪いのか、「財政が柔軟でよい」という考え方もあろうと思いますが、私は、「計画的な財政になっていない」と考えます。「何に使ってもいいお金」の余裕が、上記のような目的が曖昧な土地の取得につながっていくと思われるからです。使い途が特定される目的基金となっていれば、「とにかく買っちゃおう」と

いうようなことは起きようがありません。

次回3月の定例議会に提出される15年度補正予算と16年度当初予算で、各基金のボリュームや運用計画が示されるとのことです。今後とも財政調整基金の推移に注目すべきだと思います。



次回の定例議会は、2月25日～3月24日の予定です。会期中の3月5日～11日には、総務、市民経済、文教福祉、都市建設の4つの委員会で、16年度当初予算の分割審議が行われます。ぜひ傍聴においでください。

## 「補助金交付のあり方」をテーマに一般質問しました

### 1回目 補助金はさらなる見直しが必要

印西市は、平成10年に「補助金手当等検討委員会」を設置し、同委員会が策定した「指針」に基づき、これまでに9,200万円の補助金を削減したとしている。

しかし、公益的な市民活動が増加・多様化するなか、既得権や前例にとらわれない、よりいっそう公平で透明性の高い交付のあり方が求められている。

質問&意見	市の回答
①現時点で補助金交付のあり方をどのように評価しているか？	①一定の成果は上がっているが、すべて「指針」にそった形で見直しが完了したかと言えば、完了したとは言えない。
②その後、総括的な見直しは行われているか？	②16年度予算査定時に補助金のヒアリングを行った。現在は合併協議中であり、総括的な見直しの時期としては適当でない。
③負担金（公的機関どうしの支出）は「もたれあい」の体質が指摘されているが、これまで全庁的に負担金見直しを行ったことがあるか？	③負担金については、「印旛郡市負担金審議会」「千葉県市長会負担金審議会」で審査される。予算査定時にも市にとって有益なものかどうかを基準に判断している。
④「市民活動助成事業補助金」は、新たな市民活動への支援が期待でき充実が望まれる。どう評価し、今後の課題はなにか？	④市民団体の活性化など助成の成果があった。審査の公平性、透明性を高めるため外部審査機関を設置したい。また活動実績のない市民団体にも支援を検討したい。
⑤これまでの補助金見直しは市役所内部で行われてきた。外部機関で見直しを進める自治体は数多くあるが、市民参加で行う考えは？	⑤今後は負担金も含め、第三者機関で見直す必要があると認識する。時期は合併協議の動向を見据え検討する。

### 2回目 改善できないのはなぜ？

今回、すべての補助金の交付要綱と交付先団体からの実績報告に目を通したが、書面だけで交付を納得できたものはごくわずかだった。半分近くに交付要綱がない。つまり、支出の法的根拠がなく交付の目的が明確になっていない。決算報告もどこにどのように補助金を充当したのか明確にな

っていない。担当職員でさえ用途を把握していないものがある。11年当時、「検討委員会」から「市民から不信を招く」とまで指摘された補助金が、いまだに改善されることなく延々と同じ額が支出されている実態がある。

質問&意見	市の回答
①何年たっても決算報告の不備さえ改善されない補助金があるのはなぜか？	①各団体にはそれなりの理由があったことと思うが、今後は「指針」に沿って努力をしていきたい。
②既得の補助金は「市民活動助成事業補助金」よりも甘い実態が見られる。公平性の観点からどう説明するのか？	②交付による効果で精査しており、一概には言えないものだが、今後は公平性を損なうことがないように努めたい。
③100%補助金が財源になっている団体もあるが、市の直接経費とすべきでは？	③現時点では補助金が妥当であると考えている。
④長期にわたって継続している補助金が多くある。社会情勢の変化を踏まえ、交付の成果を検討すべき時期ではないか？	④社会状況の変化には関係者の工夫で対応していただいている。今後も現状を分析しつつ適切な支援を行ってきたい。
⑤補助金を上部団体の負担金に支出している例がある。迂回補助で市民に効果が見えにくくなってはいないか？	⑤負担金を支出することで研修に参加しており、成果が生かされているものとする。

### 3回目 情報は隠さず公開すべし

補助金とは未来永劫続くものではなく、交付先団体に自立していただくまでの間支援するというのが本来の姿である。また、「指針」では、交付の客観的要件

として、「市民から支持が得られること」という条件をあげている。そうした観点で、交付のあり方を検討していったほしい。

質問&意見	市の回答
①第三者機関設置の前に、まずは交付要綱をきちんと整備し、「失効」規定を盛り込むこと。失効時には交付の成果をきちんと評価する作業を行うこと。これは行政評価の第一歩。これができなくては、今後、行政評価システムが効果的に運用できるとは思えないが、どうか。	①交付要綱の確立化、絶対化、さらに提出書類の綿密な審査は、補助金に関わるすべての職員がやること。職員の意識改革の一環であると思う。
②結果が市民に公開されていなければ、第三者機関をつくっても透明性は高まらない。八王子市では問題のある補助金を名指しで公表しているが、そうした考えはあるか。	②すべて情報公開の対象である。広報誌等での公表は、難しい面もあるが、考え方として領けるところもあり、今後の研究課題とさせていただきたい。
③「市民活動助成事業補助金」についても、外部審査化の前に、審査の結果、交付先の市民団体などを広報誌で公開すべきだが、どうか。	③広報誌やホームページで事業実績の成果をお知らせし、助成制度の周知徹底を図っていきたい。